

対策についての詳しい話を聞くことができて良かったです。

今回の議会傍聴で、町の現状を少し知ることができた気がします。議会傍聴で、知ったことを今後の勉強につなげていきたいと思いません。



3年4組議会傍聴



3年4組  
鈴木悠太君

私達の生活と議会は、密接に関わっている

議会が始まる前に議員が

大きな声であいさつし、一礼をして入場してきました。そのあと大きなブザーの音と共に議会は始まりました。私が気づいたことは、発言する際に、必ず「議長」と言っていたことです。深沢宏美議員が最初の一般質問に立ちました。議題は私達の生活と密接に関わる事でした。

特に気になった議題は、国が実施している小学校一年生の学級の人数を35人から40人にするかどうかということでした。教育長は、35人だと先生の目が行き届き、いじめを早く見つけることができるし、一人一人が切磋琢磨していける人数なので、維持すべきと考えている。今後は、35人に満たない学級がでてくると発言していました。

私達の生活と議会は、密接に関わっていることがわかりました。私が小学6年生の時に、東日本大震災の影響で低学年は朝日小学校へ、高学年は黒田原中学校へ通う分散教室を経験しました。

その際に、通学路が伸び、時間が長くなってしまった生徒達、電車が不通になってしまった生徒達のためにバスを出していただいたことも、全て議会で協議されたのだと思います。



3年4組  
高南さん

今、町で起きている問題の深刻さを身に持って感じる事ができた。

私が議会傍聴に参加して初めて知った事や勉強になった事がたくさんありました。

一つ目は、議会の始まり方です。始まる際には、一秒ですら遅かったり早かったりすることは一切ありません。そして、一般質問は、議員の質問に、町長・副町長・教育長や担当課長が答えていました。

二つ目は、応答の仕方です。一つの質問に対して答える際には、手を挙げて議

長から指名された人が答えるという、私達が普段行っている挙手制である事を初めて知り、少し驚きました。また、勉強になったことは二つありました。一つ目は「男女共同参画社会」についてです。「那須町役場でみてみると、女性職員の割合は、男性職員の割合よりも多いが、女性の課長が少ない」という問いに対して、「あくまで能力で判断しているため、女性差別はしていない」という答えでした。確かに議場内には議員を含めて2人しか女性はいませんでした。

二つ目は、放射能汚染についてです。「表土除去を国の負担すべきだ」という住民の要望」という問いに対して、私は早く除染作業を行ってほしいという思いがありました。それよりも、行政サービスが行き届いていないため住民の全体的な意見がまとまっていないことがわかりました。

その他にも「小学校一年生を35人学級から40人学級に変える」という国の考え

がある一方で、「人数が少ない方がいじめ問題などを防止できるため35人学級が良い」という意見もありました。

これらの事を踏まえて、今那須町で起きている問題の深刻さを身に持って感じることができてとても良かったです。中には、「TPP」や「男女共同参画社会」などといった社会の授業で習ったことが議会の話し合いの中で出てきて、少し驚きました。また、議会の中にはカメラなどが設置してあり議会の重要さを改めて痛感できました。今後また、傍聴する機会があれば参加してみたいです。

(※)SNS「ソーシャルネットワーク」

友人・知人間のコミュニケーションを円滑にする手段や場を提供したり、趣味や嗜好、居住地域、出身校、あるいは「友人の友人」といった繋がりが通じて新たな人間関係を構築する場を提供する、会員制のサービスのこと。